

6月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧いただけます。



幼児教育・保育の無償化について



志友会 高木 きよし

議員 令和7年から11年までの未就学児と小学生の人口推計について伺います。

福祉こども部長 令和7年は2万676人、11年は1万8,715人であり、1,961人の減少が見込まれています。

議員 少子化に歯止めをかけるため、子育て支援サービスのさらなる充実には0～2歳児の幼児教育・保育の完全無償化の実施が必要と考えますが、無償化の課題について伺います。

福祉こども部長 無償化することで保育ニーズの高まりが予想され、待機児童の発生や保育士不足による質の低下が懸念されることから、並行して保育環境の整備支援と継続的な財源確保が必要と考えています。

議員 幼児教育・保育の完全無償化の課題解決について、市長に伺います。

市長 保育料の完全無償化は子育て家庭の経済的負担を軽減し、少子化対策として重要な施策ですが、保育の質の確保、向上も不可欠です。保育

士の処遇改善は保育施設の人材確保と保育の質に直結する課題なので、現場で働く職員の処遇改善にも取り組む必要があると考えています。

議員 幼児教育・保育の完全無償化の財源について伺います。

市長 本市では保育料の軽減を実施していますが、完全無償化の実現には安定した財源の確保が必要です。国の動向や他自治体の事例を注視し、持続可能な制度設計について検討していきたいと考えています。

■その他の質問

・本市の治水対策について



本市の農業政策について



太田クラブ 町田 正行

議員 遊休農地の過去3年間の面積の推移について伺います。

農政部長 令和4年度が約61.5％、5年度が約95.5％、6年度が約97％です。

議員 太田市大型農業機械導入支援事業の令和6年度の実績と7年度の申請状況を伺います。

農政部長 令和6年度の交付件数は18件で、7年度の現在の申請状況は33名となっています。

議員 申込者が多く、補助が申請者に行きわたらない状況にありますが、大型農業機械導入支援事業を継続的に実施するか、市長の所見を伺います。

市長 農業の効率化や営農継続支援として、継続したいと考えています。

議員 増加傾向の遊休農地の解消について、所見を伺います。

市長 農業委員会と連携し、各種支援策を活用しながら、遊休農地の解消を図り、農地のマッチングを進めるこ

とで遊休農地の発生防止をしていきたいと考えています。

議員 今後の農業者支援について、所見を伺います。

市長 スマート農業の技術の活用は多くのメリットがあり、担い手不足の解消にもつながるため、積極的に推進するとともに、国や県にもしっかりと支援の拡充を要望していきたいと考えています。

■その他の質問

・本市の1%まちづくり事業について
・藪塚地区の土地利用について



本市の公共交通について



太田クラブ 木村 浩明

議員 隣接する他市との路線バスの接続の現状について伺います。

市民生活部長 大泉千代田線あおぞら、伊勢崎コミュニティバスのあおぞら東西シャトル、熊谷市と接続する朝日バスの3路線があります。

議員 みどり市内にバス停留所を設置することについて伺います。

市民生活部長 今後策定予定の太田市地域公共交通計画の中で、パーソントリップ調査を行い、路線バスの再編とともに、他市へのバス停設置を研究していきたいと考えています。

議員 将来の本市の公共交通として、多くのバス停を設置した誰でも乗れるデマンド型路線バスにしていくことについて所見を伺います。

市民生活部長 多くの要望がありますので、必要性や地域の特性を考慮し、研究・検討したいと考えています。

議員 バスの相互乗り入れや接続の工夫により自治体の境を超える試みなどを踏まえて、本市の公共交通の

今後について、市長の所見を伺います。

市長 市民にとって日常の移動手段である公共交通は大変重要で、生活圏が近隣市となる人があることも承知しています。本市の公共交通のマスタープランとなる計画を今後策定する中で、人の流れや市民の公共交通に対する考えをしっかりと調査し、持続可能な公共交通のあり方を検討していきたいと考えています。

■その他の質問

・学習スペースの拡充について
・本市の都市計画について



少子化対策について



太田クラブ 白石 さと子

議員 少子化に歯止めをかけるため、さらなる対策が必要と感じますが、本市の取り組みについて伺います。

福祉こども部長 幼稚園、認可保育所、認定こども園に通う園児の給食費の助成、おむつ給付サービス、第3子以降保育料免除事業、子ども一時預かりサービスを行っています。

議員 本市の不妊治療助成の対象となる条件と回数について伺います。

健康医療部長 保険適用外の治療は年齢制限を設けず助成しており、生殖補助医療は1回10万円を上限に1年度2回まで5年度分を助成、その他の不妊治療は1年度1回5万円を上限に5年度分を助成しています。

議員 出産について経済的な負担軽減の拡充も視野に入れるべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 健康面、経済面、働き方など、関係機関が連携した支援についても研究していきたいと考えています。

議員 不妊治療費助成の拡充につ

いて、所見を伺います。

市長 支援の拡充を図るため、不妊治療費の助成回数制限の撤廃を実施したいと考えています。

議員 「群馬県小児・AYA世代の^{あや}がん患者等の妊孕性温存療法助成事業」の指定病院が東毛地区にないことについて、所見を伺います。

市長 医療機関や医師会との連携が非常に重要ですので、連携調整に努めたいと考えています。

■その他の質問

・開かれた市政運営について
・インフラ老朽化対策について

